

令和7年11月20日
教頭

令和7年度第2回振興対策協議会 兼 第2回学校運営協議会 報告書

1 日 時 令和7年11月19日（水） 17:30～19:00

2 場 所 北海道津別高等学校 多目的教室

3 出席者

〈振興対策協議会委員 敬称略〉	〈学校運営協議会委員 敬称略〉	〈学校・各部会担当者〉
佐藤 久哉	上野 真司	校長 島村 真幸
松平 範慶	河本 純吾	教頭 山崎 辰也
西原 芳明	立川 彰	事務長 橋本 堀子
長瀬 加寿哉	笠川 早苗	教諭 小平
渡邊 直樹	長瀬 加寿哉	
谷口 正樹	佐藤 久哉	
長政 久仁子 (※)	谷口 正樹	
佐藤 芳弘 (※)	迫田 久弥	
濱端 紀行 (※)	三村 文邦	
柏木 亜由美	森本 邦紀	(※～欠席)
小林立 教行 (※)		
溝口 天清 (※)		
三村 文弥		
森本 邦則		
佐藤 多一 (オブザーバー) (※)		
近野 幸彦 (オブザーバー)		

4 議 事

- (1) 各会長挨拶
- (2) 町長（教育長）挨拶
- (3) 校長挨拶
- (4) 前期を振り返って（中間事業報告）
- (5) 後期及び次年度前期に向けて
- (6) 振り返り・質疑応答
- (7) 令和7年度中間決算報告及び次年度予算（案）について
- (8) その他

5 熟議内容

【学校存続に向けて】

- ・津別高校がなくなれば、他の高校がなくなった市町村のように、人口減が加速し、町の収入減、経済問題につながるものがエビデンスとして示されている。
- ・中学校説明会に大口の北光中学校からの参加者が1名しかいなかったように、北見市内の生徒は無償化の私学に流れる傾向が見て取れる。中学校説明会に参加しているのは、どこの学校も1～2名で、周辺町村からの参加も見られる。
- ・部活動の特定種目への特化という考え方もあるのではないかな。
- ・道外募集は宿泊施設が無ければ、道教委は募集不可というスタンスを採っている。
- ・この先、管理職が代わっても地域とのつながりを持たせられるコーディネーターの存在が不可欠ではないかな。
- ・大人にでなく、子どもたちに評価されるようにするにはという視点（子どもたちから選ばれるようにするにはという視点）で考えることが必要。
- ・小中と高校のカリキュラムの分断を一貫化させ、地域の特性を活かしたプログラムを行うことは考えられないかな。この地域で小中高を通じて、どのような生徒を育成するかというビジョンが大切。
- ・安易にコーディネーターの人材を地域おこし協力隊に依存するのではなく、もともと町内にいる人材に声をかけることから初めてはどうか。町として高校をどうするかという姿勢が問われている。